



■はじめに

本ドキュメントでは、ファームウェア バージョン 5.4、5.5 および 5.6 以上を搭載した AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダから外部 Syslog サーバに対して自動でシステムログを転送する設定について説明します。

なお本ドキュメントでは Syslog サーバの IP アドレスは例として 192.168.0.1 とします。

■設定手順

手順 1: AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの時刻を設定する(時刻設定を確認する)

システムログの時刻を正しく記録するため、製品の時刻をあわせませ(設定済みの場合は時間が正しいか確認します)。

1. 「Basic Setup」-「Date & Time」ページを開きます。
2. 「Time Zone」で、「GMT+09(Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul)」を選択します。
3. Time mode を選択します。

Synchronize with computer time

「Save」ボタンをクリックした時に一度だけ、お使いの PC と日付・時刻をあわせませ。

Synchronize with NTP server

NTP サーバと同期します。将来にわたり時刻ズレを防ぐ最も推奨される方法です。同期先 NTP サーバのアドレスを設定するには、「No server specified」という青いリンクをクリックします。表示されたページの「NTP Configuration」欄にアドレスを入力して Save してください。NTP サーバは信頼性の高いものをご利用ください。

Set manually

手動で日付と時刻を設定します。

AXIS M3027 Network Camera Live View | Setup | Help

Date & Time Settings

Current Server Time: Date: 2015-10-02 Time: 10:14:35

New Server Time: Time zone: GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul)

Automatically adjust for daylight saving time changes:

Time mode:

Synchronize with computer time
Date: 2015-10-02 Time: 10:15:28

Synchronize with NTP server
NTP server: 192.168.0.1

Set manually
Date: 2015-10-02 Time: 10:14:30

Date & Time Format Used in Images

Specify date format: Predefined YYYY-MM-DD Own %F

Specify time format: Predefined 24h With resolution: 1 second Own %T

Save Reset

4. ページ下の「Save」ボタンをクリックして設定を保存します。

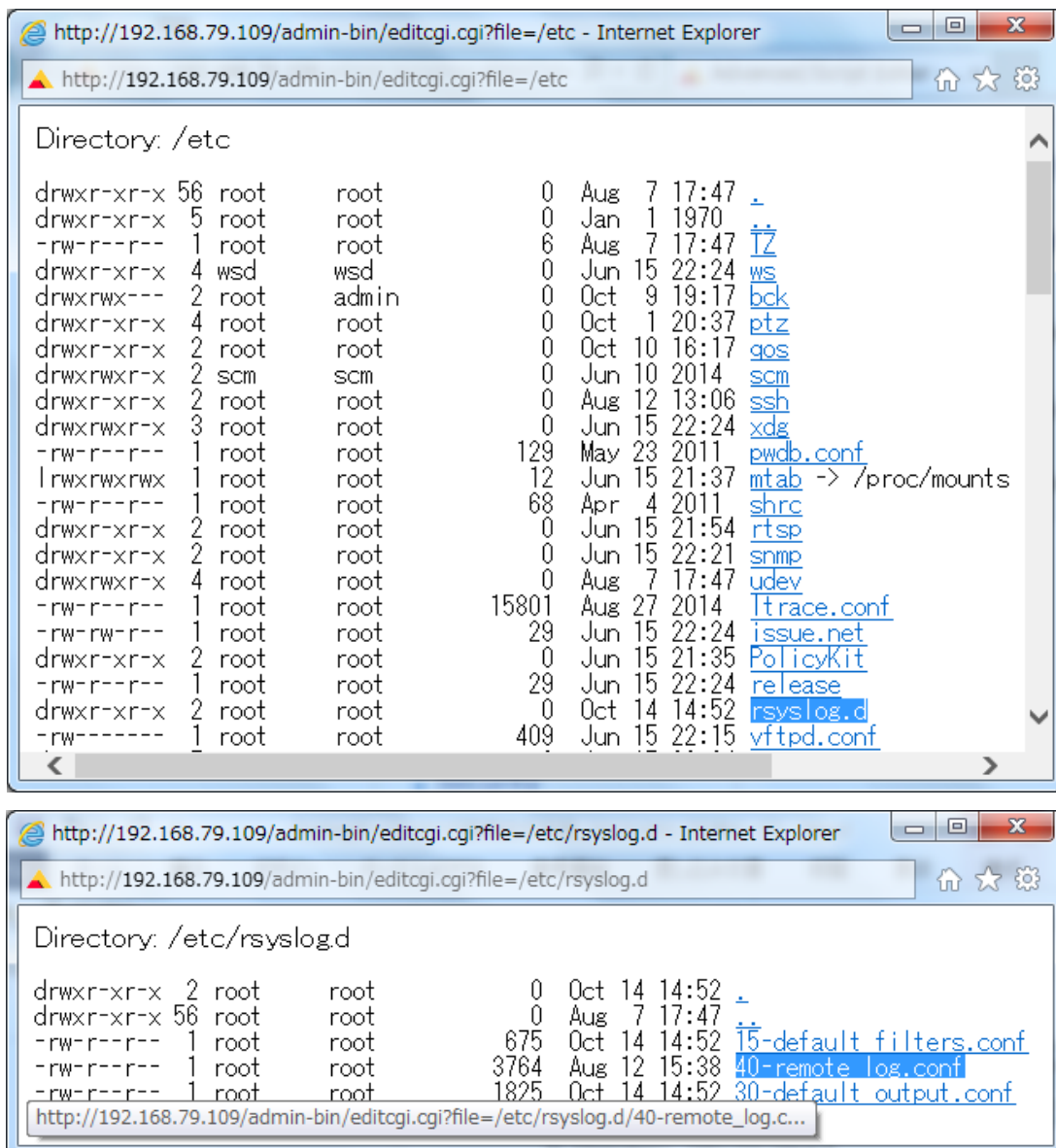
手順 2-1 : Axis ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定 (ファームウェア v5.6 以上)

1. ブラウザで Advanced Scripting を開きます。

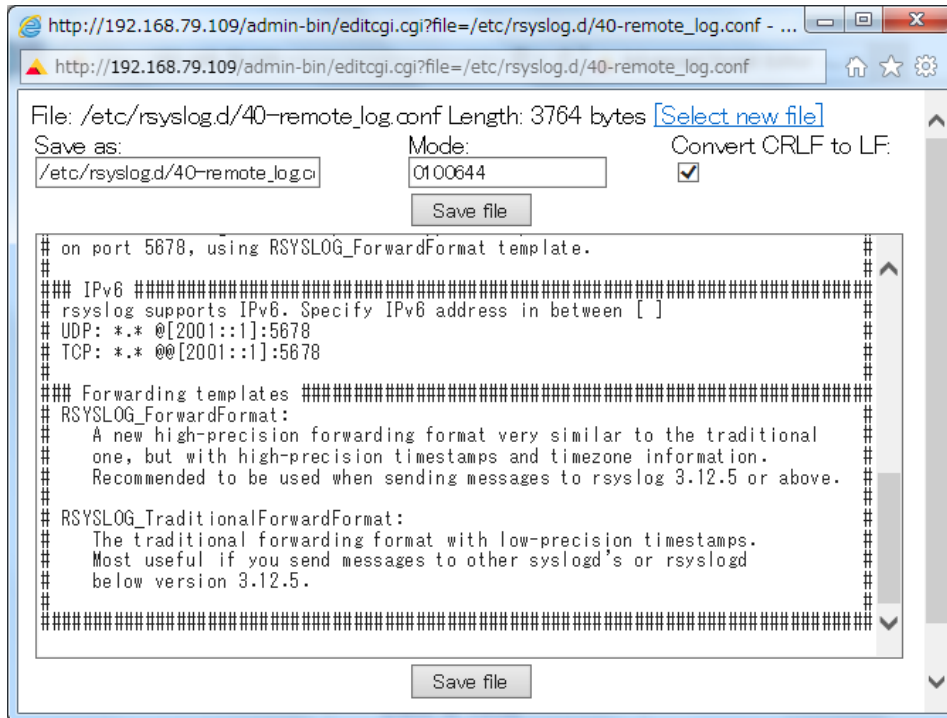
System Options → Advanced → Scripting を開き、Open Script Editor をクリックします。

※ Linux および Axis ネットワークビデオ製品でのスクリプトの編集と実行を完全に理解されている場合、または Axis テクニカルサポートの指示があった場合のみ利用ください。スクリプトの編集により製品の動作に影響を及ぼす場合があります。その場合は製品の初期化ボタンから製品を工場出荷時状態にリセットしてください。

2. `rsyslog.d` → `40-remote_log.conf` とクリックします。



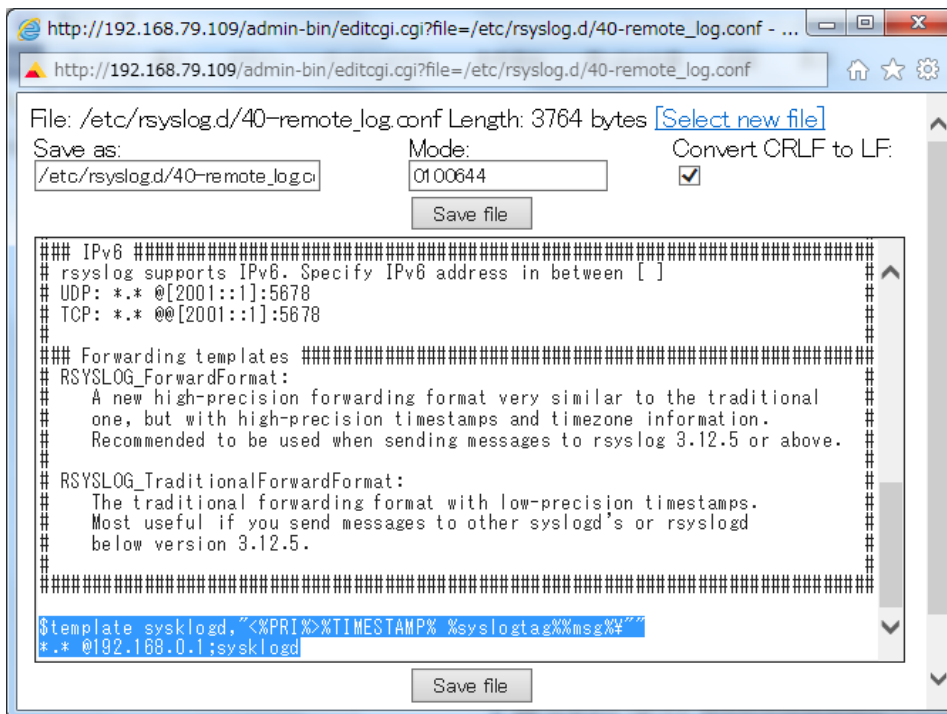
3. 以下のスクリプトエディターが開きます。



4. スクリプト内容をスクロールダウンし、以下の2行のテキストを最下行に追記します。

```
$template syslogd, "<%PRI%>%TIMESTAMP% %syslogtag%msg%"
```

```
*.* @192.168.0.1:syslogd
```



5. 「Save file」ボタンをクリックして設定を保存します。
6. ネットワークカメラ/ビデオエンコーダを再起動します。

7. Syslog サーバでカメラの起動時からのログが収集できている事を確認します。

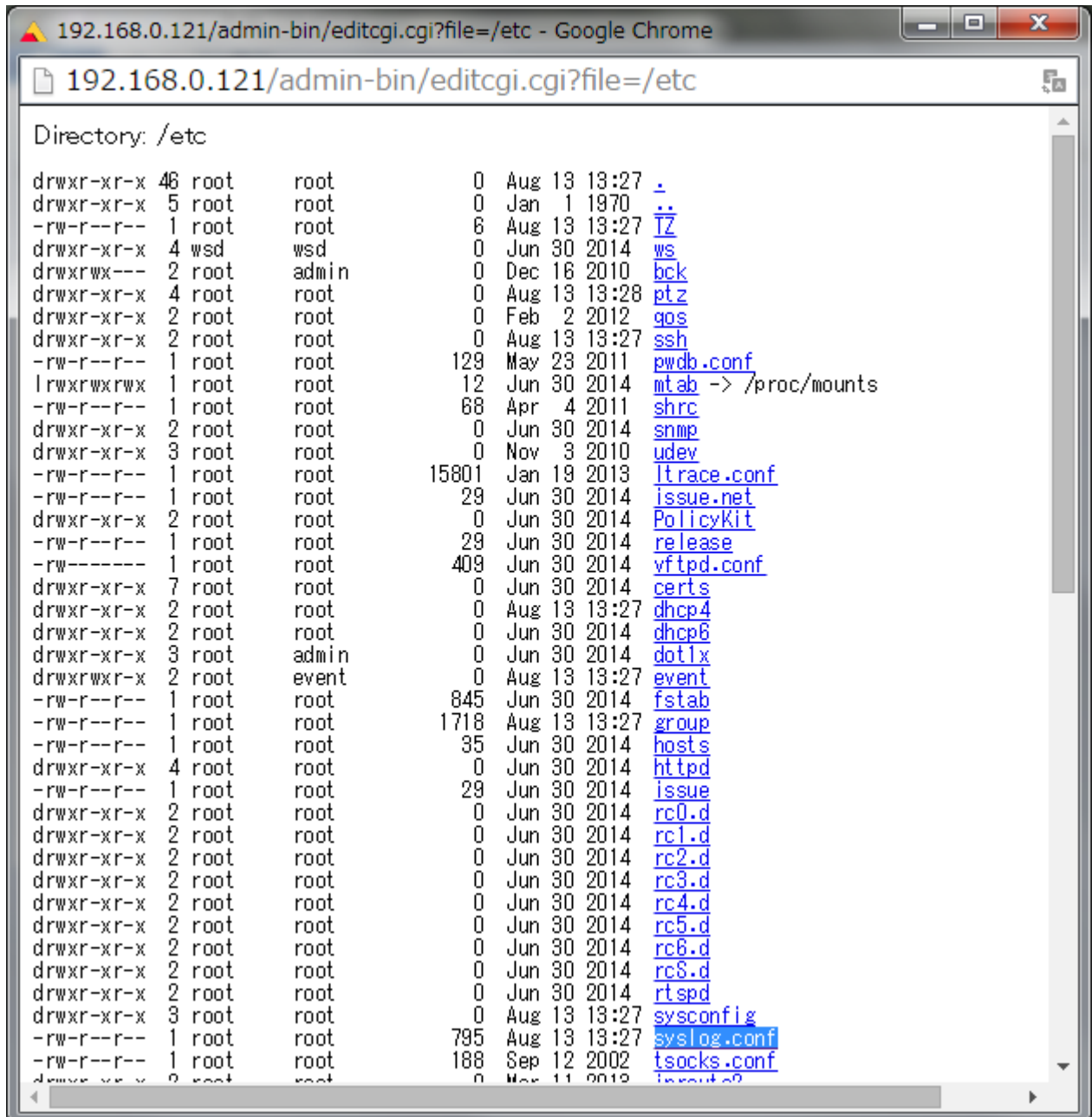
手順 2-2 : Axis ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定 (ファームウェア v5.4 および v5.5)

1. ブラウザで Advanced Scripting を開きます。

System Options -> Advanced -> Scripting を開き、Open Script Editor をクリックします。

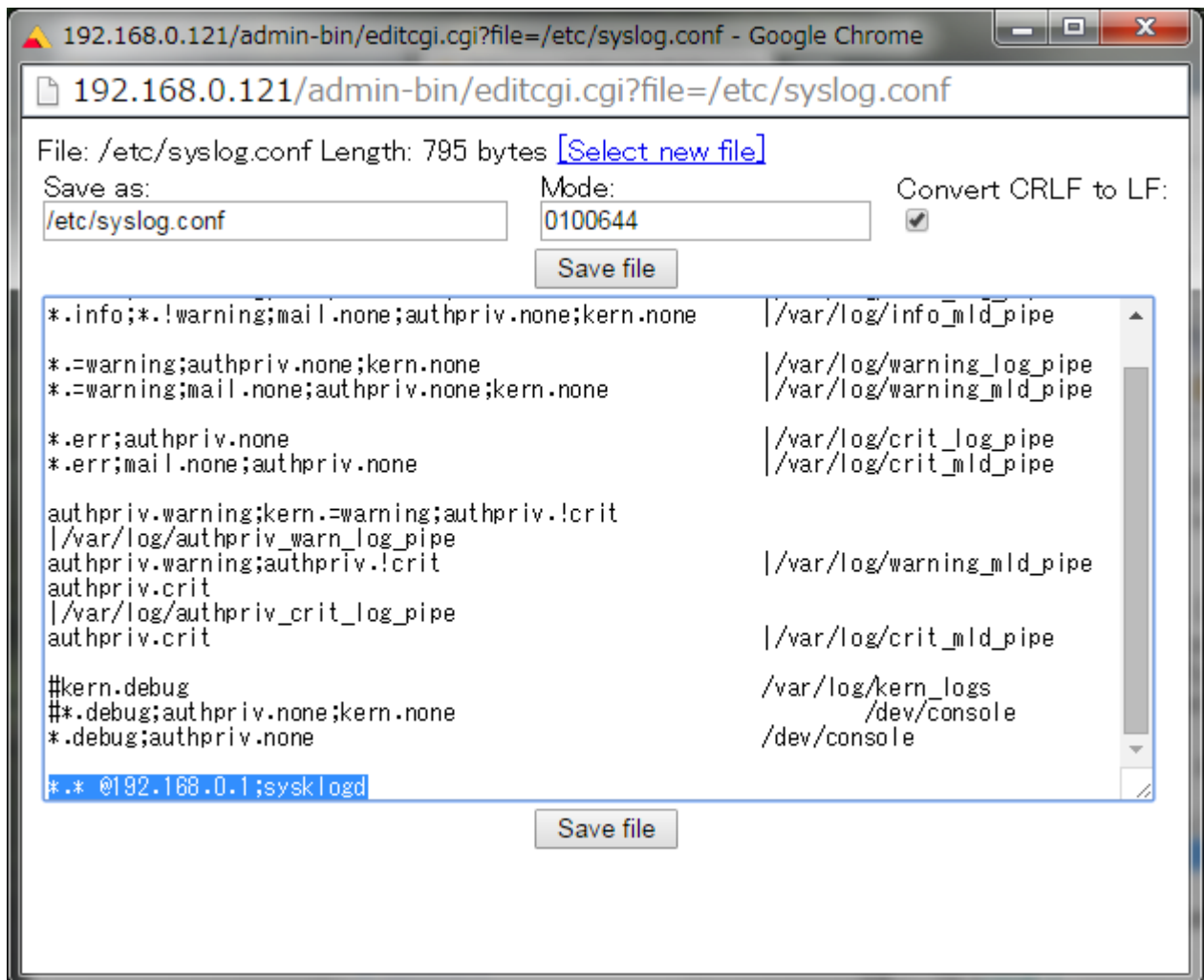
もしくはブラウザで <http://IPアドレス/admin-bin/editcgi.cgi?file=/etc/syslog.conf> を開きます。

※ Linux および Axis ネットワークビデオ製品でのスクリプトの編集と実行を完全に理解されている場合、または Axis テクニカルサポートの指示があった場合のみ利用ください。スクリプトの編集により製品の動作に影響を及ぼす場合があります。その場合は製品の初期化ボタンから製品を工場出荷時状態にリセットしてください。



2. スクリプトエディタが開いたら、次のテキストを最下行に追記します。

```
*.* @192.168.0.1:sysklogd
```



3. 「Save file」ボタンをクリックして設定を保存します。
4. ネットワークカメラ/ビデオエンコーダを再起動します。
5. Syslog サーバでカメラの起動時からのログが収集できている事を確認します。

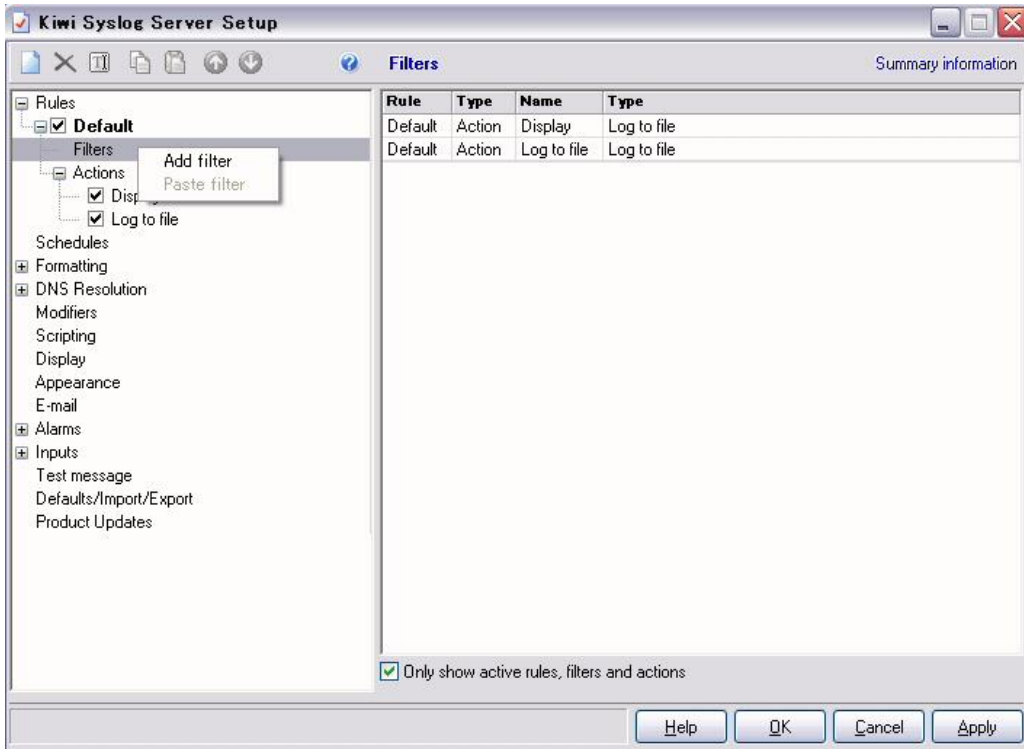
■参考: 「Kiwi Syslog Server」を利用してログを収集する

以下では Syslog サーバの例として「Kiwi Syslog Server v9.2.0」を使った方法をご紹介します。

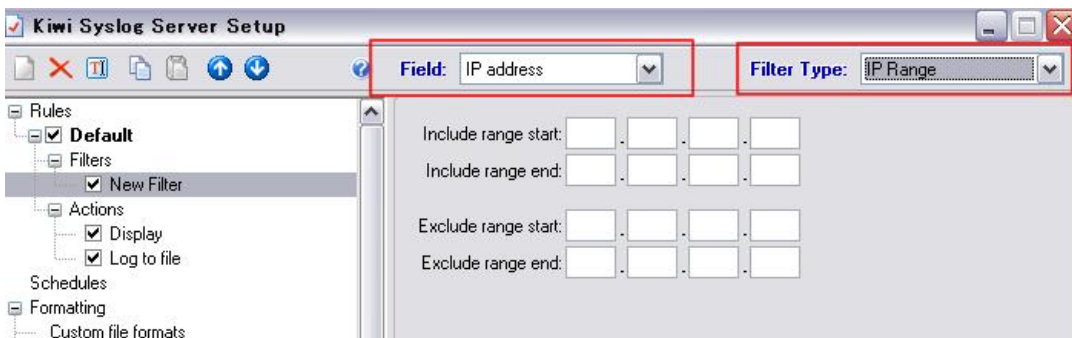
※「Kiwi Syslog Server」は、SolarWinds 社のソフトウェアです。弊社では本ソフトウェアの仕様や詳しい操作方法、トラブルのご相談などのお問い合わせは一切お受けしておりません。本ソフトウェアの使用許諾契約に従ってご利用ください。

[Kiwi Syslog Server の設定]

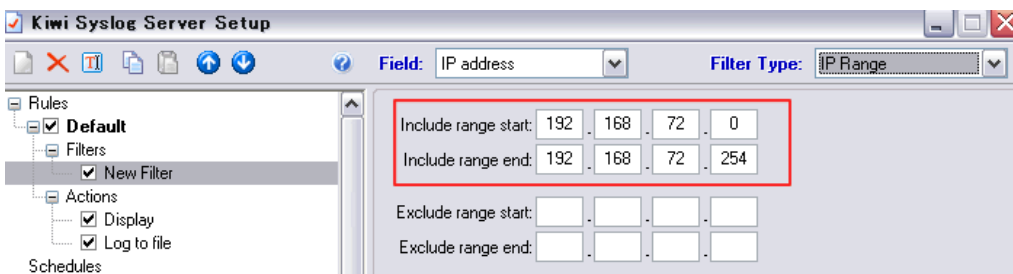
1. ソフトウェアを起動し、「File」 - 「setup」を開きます。
2. 「Filters」を右クリックし、「Add filter」をクリックします。



3. 「New Filter」が選択されている状態で、右上の Field プルダウンメニューで「IP address」を選択し、Filter Type プルダウンメニューで「IP Range」を選択します。



4. 「Include range start」と「Include range end」で、ログを収集する対象となるユニットの IP アドレスの範囲を指定します。(図のアドレスは例です)



※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2015 年 12 月現在のものです。
 ※Kiwi Syslog Server は SolarWinds 社の登録商標です。

5. Apply をクリックし、「OK」で設定ウインドウを閉じます。
6. ネットワークカメラ/ビデオエンコーダを再起動することで、起動直後からのログが取得できます。

以上の設定で、Axis ネットワークカメラ/ビデオエンコーダから取得した Syslog がリアルタイムで Kiwi Syslog Server のウインドウ上に表示されます。

取得したログは

C:\Program Files\Syslogd\Logs\SyslogCatchAll.txt

に保存されます。

(ログの保存場所は「File」-「Actions」-「Log to file」メニューの「Path and file name of log file」で任意に指定することもできます。)

以上